

人口動態総覧

	実 数			率 注(1)	
	令和2年	令和元年	対前年増減	令和2年	令和元年
出 生	12,259	12,741	△ 482	6.3	6.5
男	6,310	6,572	△ 262	3.2	3.3
女	5,949	6,169	△ 220	3.0	3.1
死 亡	20,261	19,778	483	10.3	10.0
男	10,077	9,916	161	11.1	10.8
女	10,184	9,862	322	9.7	9.4
(再 掲)			0		
乳児死亡	20	27	△ 7	1.6	2.1
新生児死亡	7	11	△ 4	0.6	0.9
自 然 増 加	△ 8,002	△ 7,037	△ 965	△ 4.1	△ 3.6
死 産	295	361	△ 66	23.5	27.6
自然死産	116	162	△ 46	9.2	12.4
人工死産	179	199	△ 20	14.3	15.2
周 産 期 死 亡	32	51	△ 19	2.6	4.0
妊娠満22週 以後の死産	28	41	△ 13	2.3	3.2
早期新生児死亡	4	10	△ 6	0.3	0.8
婚 姻	9,131	10,117	△ 986	4.7	5.1
離 婚	3,691	3,845	△ 154	1.88	1.95

	令和2年	令和元年
合計特殊出生率 注(2)	1.09	1.12
	…	(1.36)

年齢調整死亡率 注(3)	令和2年	令和元年
男	4.5	4.6
	…	(4.6)
女	2.5	2.5
	…	(2.4)

()内は全国の数

注:(1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)・周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。「令和2年国勢調査に関する不詳補完結果(参考表)」(総務省統計局)の値を用いて算出。

(2) 率算出に用いた女性人口は、「令和2年国勢調査に関する不詳補完結果(参考表)」(総務省統計局)の値。
母の年齢が14歳以下での出生児は母年齢15～19歳の階層の出生数に含め、分母となる女性人口は、年齢毎の算出数のままと(厚生労働省合計特殊出生率に準じる)。出生の実数には、母の年齢不詳を含むが、合計特殊出生率の算出に用いた出生数(母の年齢不詳は含まない)。

(3) 率算出に用いた人口は、「令和2年国勢調査に関する不詳補完結果(参考表)」(総務省統計局)の値を用いて算出。

(4) …計数不明又は計数を表章することが不適当な場合。